

しおかせだより

やわらぎ敬老会

～敬老会を行いました～

秋も深まり肌寒い日が続きますが、皆様におかれましてはお変わりなくお過ごしでしょうか。

やわらぎでは9月16日に敬老会を開催し、地域の皆様ご家族様をお招きして、ご利用者様の長寿と健康をお祝い致しました。

今年は101歳を迎えられた方が2名、米寿を迎えられた方が4名おられ、当施設よりお祝いの花籠を送らせて頂きました。

ご利用者様からお礼の言葉を頂きご家族様からも「このようにお祝いしていただいて感謝です」と喜びの言葉が聞かれました。



今回のゲストは山陰花扇会様、大山秀樹様をお招きし、日本舞踊と歌を披露して頂きました。

特に日本舞踊では90歳におなりになる方が華麗な舞を披露され会場からはひととき大きな拍手が起こりました。

一方歌の方では、清涼感ある歌声で皆様聞き覚えのある歌と一緒に口ずさみ、和やかな一時を過ごされました。

敬老会終了後の昼食会には「お祝い膳」が振る舞われ他ご利用者様ご家族様と楽しく談笑されながら召し上がっておられました。



今年も皆様のお陰をもちまして盛大な敬老会を行うことが出来ました。

これから寒い季節となってまいります。

お体には十分気をつけて頂き、お元気で過ごしくださることを職員一同願っております。



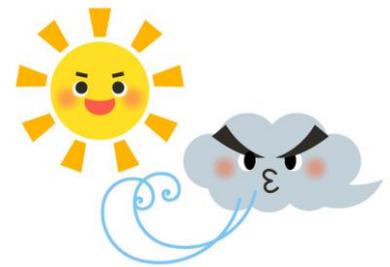
鶴原施設長のお役立ち情報第8回

～気象前線通過、脳梗塞に注意～

2017年4月20日のメディカルトリビュー(医学関連ニュース)に上記タイトルの記事が記載されていました。広島大学脳神経内科の下村怜先生の研究発表内容でした。急性期病院入院患者の脳血管障害者約4000例を対象に検討されています。解析の結果、発症当日の気温が高い(23.8℃以上)と脳出血の発症リスクが高かったが、脳梗塞との関連は見られなかった。発症当日の湿度補正気温を調整し、気象前線通過と脳血管障害発症との関連を脳出血と脳梗塞に分けて検討した結果は脳出血では寒冷前線通過と温暖前線通過のいずれも発症頻度に影響していなかった。

一方脳梗塞では、発症6日前の寒冷前線通過および発症前日の温暖前線通過で発生頻度が有意($p=0.039$)に増加していたと報告されています。

脳梗塞の発症は気象前線の通過に影響を受ける可能性がある」と結論づけておられます。



皆様もご存知のように気候の変動と病気や痛みとの関連については古くから伝承的に言われてきました。

これらを「気象病」と「季節病」とよばれています。

気象病を起こす気象条件としては前線、特に寒冷前線の通過やフェーン現象などが言われています。気象現象による体内の変化に対する研究は行われています。

「気象病」としては、リュウマチ、神経痛、心筋梗塞、気管支喘息、胆石、急性虫垂炎、脳出血、感冒、精神障害など知られています。



「季節病」には冬には狭心症、心筋梗塞、脳出血、風邪症候群が増加、高温多湿の時期は脳梗塞、春から夏は気分障害(うつ病)が増加するといわれており、原因の解明も進んでいます。

地球温暖化が叫ばれ世界規模で重要課題として討議されています。気象変化が及ぼす人体への影響を考えるきっかけになれば幸いに思います。



～オールジャパンケアコンテストに参加しました～

10月8日に米子コンベンションセンターにて、全国の介護施設から109名の介護福祉士参加のもと「第8回オールジャパンケアコンテスト」が開催されました。コンテストでは、介護6分野「認知症」「食事」「入浴」「排泄」「看取り」「口腔ケア」に分かれ、それぞれの課題に応じて実技を披露しその後、各アドバイザーが審査し評価が行なわれました。やわらぎからは新人の荒尾かな子さんが「看取り分野」に参加しました。「自分なりに良い実演が出来た。他県や他施設の方の実演やアドバイザーからのコメントを通し今一度日頃行っているケアを振り返る良い機会になった」と話していました。今後も職員一人一人が高い意識を持ち利用者様一人ひとりに、より良いケアを提供できるよう取組んでいきたいと思ひます。



～新人職員紹介～



部署 デイケア
職種 介護福祉士
氏名 宇田 秀美
(うだ ひでみ)

部署 デイケア
職種 介護福祉士
氏名 中井 美沙枝
(なかい みさえ)

部署 事務部支援相談員
職種 介護福祉士
介護支援専門員
氏名 讃岐 渚
(さぬき なぎさ)

部署 サービスプラン
やわらぎ
職種 介護福祉士
介護支援専門員
氏名 越田 暁
(こしだ あきら)

利用者の方に安全に楽しい時間を過ごして頂けるようお手伝いいたします。今後とも宜しくお願い致します。

皆様の支えとなれるようお手伝いをさせて頂きたいと思ひます。どうぞ宜しくお願い致します。

相談業務を担当しております。入所者の方が安心して生活出来るよう、お手伝いさせて頂きたいと思ひますので、宜しくお願い致します。

1日も早く皆様のお力になれるよう、先輩方のご指導のもと、頑張っていきたいと思ひますので、宜しくお願い致します。

医療法人同愛会

はあとふる・ねっとわーく

●介護老人保健施設やわらぎ

TEL (0859) 31-1000

FAX (0859) 31-1003

●デイケアやわらぎ

TEL (0859) 31-0150

●ヘルパーステーションやわらぎ

TEL (0859) 31-1025

●サービスプランやわらぎ

TEL (0859) 31-1002

1日おためし体験についてのお知らせ

デイケアやわらぎでは毎週月曜日から金曜日（祝祭日除く）の9:30～15:30迄の時間でおためし体験を受け付けております。

対象者：要支援・要介護認定を受けられた方

内容：健康チェック・レクリエーション
グループ活動（体操・脳活性・工作）

【見学】入浴・個別リハビリ。施設内案内

費用：昼食（おやつ代込み）600円

ご家族同伴・送迎（車椅子でも可）も承っておりますので気軽にお申し込みください。

問い合わせ（担当：判田）

～やわらぎでの日常～

9月6日

福米西公民館で、いきいきサロンを行いました。

準備したレクリエーションや体操で、地域の方々と一緒に楽しい時間を過ごしました。



10月

各フロアで秋の大運動会が開催され、大変盛り上がりました！！

がんばるぞー！！

えい、えい、おー！！



優勝チームには
トロフィーが
贈られました♪



10月18日 入所にて
YMCAの実習生とレクリエーションを行いました。



学生から手作りのメッセージカードをもらい皆さん笑顔です。



10月11日
干し柿を作りました。皆さん慣れた手つきであっという間に完成です。



職員が
吊るして
完成です♪

10月30日
福米西小学校で、介護教室を行いました。
介護に対する疑問に答え、正しい車椅子操作方法と一緒に勉強しました。



施設で行っている脳活性レクリエーションをみんなで体験しました。



～ヘルパーだより～



10月は「神無月」と呼ばれます。

旧暦の10月は日本中の八百万の神様が島根県の出雲大社に集結！

神様たちはそこで何日もかけて会議を開くのです。

神様たちが出雲大社に出かけて全国の神様が留守になってしまう為「神無月」と呼ばれるようになったとか。



もう1つの由来は・・・

由来には様々な説がある神無月ですが、「新穀で新酒を醸す月」という意味で「醸成月」

翌月の「新嘗祭の準備」という意味で「神嘗月」、それが転じて「神無月」になったともいわれます。

まだまだ諸説あり、謎は多いようです。



どんな神様が集まるの？

出雲大社に祭られているのは「いなばの白うさぎ」で有名な大国主大神。大国主大神は自分の子どもたちを日本中に配置し、各地域を任せています。初めはその子どもたちだけが集まっていたのですが、のちにそれ以外の神様も来るようになったそう。つまり出雲大社には、日本中のあらゆる神が集まるのです。



留守を守る「留守神様」

出雲に行かず、各地を守ってくれる神様の留守神様は、七福神の恵比寿神です。また関東では「かまど神」や「大黒天」とも言われているそうです。かまど神は子たくさんで控えめな為出雲には行かないのだとか。

この時期各地域で色々な神事が行われます。皆さんもお近くの秋祭りに出掛けられてはいかがでしょう。

今後の行事予定

- | | | |
|--------|--------------|--|
| 11月21日 | 喫茶(洋風) | |
| 11月22日 | 作品展 | |
| 12月上旬 | クリスマス交流会 | |
| 12月上旬 | 手作りおやつ(ユニット) | |
| 12月28日 | 蕎麦打ち | |

編集後記

秋といえば、「食欲の秋」「読書の秋」「スポーツの秋」ですね。皆様それぞれの秋を楽しんでおられますか？

日に日に寒さも増してきました。よく食べ、よく動き、よく眠り、冬の寒さに負けない体をつくっていきましょう。

しおかぜだより 43号(2017年 秋号)

2017.11月発刊

医療法人同愛会

介護老人保健施設やわらぎ

〒683-0801 鳥取県米子市新開 4-11-13

TEL (0859)31-1000

FAX (0859)31-1003

H P <http://www.douaikai.net/>

E-mail yawaragi@douaikai.net

以下のQRコードから携帯でもご覧頂けます。



【初回発刊日】1996年8月